

2008年度第14回理事会議事録

2009年5月18日
日本地質学会
会長 宮下純夫

期 日：2009年5月10日（日）10:30～12:00

場 所：地質学会事務所

出席者：宮下会長，高木副会長，佃副会長，渡部常務理事 藤本副常務理事 井龍 石渡 上砂
小嶋 齋藤 久田 藤林 向山 矢島 各理事，橋辺（事務局）

欠席者：岩森 倉本 坂口

* 成立員数（12/17）に対し，出席者14名，委任状3名，欠席者 名で，理事会は成立。

* 前回議事録の追承認

○報 告

1. 運営財政部会（部会長-上砂，向山，倉本，坂口）

総務委員会（委員長-上砂）

- ・ 学術会議より「研究を進める上で支障となっている事項調べ」（締め切り5/29），があり，Geo-flashで広く呼びかけ意見を出してもらう。寄せられた意見は学術研究部会でとりまとめ，理事会での承認を得て日本学術会議に報告する。報告の内容については会員の意見そのままということではなく，理事会が責任をもつ。報告文の内容は学会ニュースに掲載する。
- ・ 連合総会（5/19）への出欠について（返事締切5/11）→会長出席
- ・ 科学教育研究協議より，会第56回全国研究大会（8月1-3日，さいたま市）の後援依頼，例年通り承諾した。
- ・ 大学女性協会守田科学研究奨励賞贈呈式（6/6）への招待（返事締切5/15）→欠席
- ・ 藤原科学財団：藤原セミナーの募集，2010年1月から2011年12月開催を予定する国際セミナーへの開催費用の援助，締切7/31→News, HPに掲載
- ・ 第6回日本学術振興会賞の推薦，受付期間5/26-28→News, HPに掲載
- ・ 茨城大学教員募集，理学部理学科地球環境科学領域助教1名
- ・ ダイヤコンサルタント(株)挨拶状，新社 長杉江健一
- ・ 日産科学振興財団挨拶状，新理事長 志賀俊之，新常務理事久村春芳
- ・ 地学協会主催 IYPE 協賛企画「地球とハーモニー」への招待状

会員関係（担当理事 向山）

1) 入会者 14名（正10，院3，準1）

（正）積田清之，湯川貴史，柵山徹也

（院）原田 尚，白河知恵，森 宏，箭野敬典，堀川義之，久保田 亮，小島 萌，
正木裕香，加藤孝和，柳 善榮

（準）澤井みち代

2) 退会者 4名（正4）

（正）佐藤伸明，金井篤史，五十嵐 茂，和氣 潔

3) 4月末日会員数

賛助30，名誉72，正4,143（うち院126），準30，合計4,266（前年同期比-104）

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

- ・ 連合法人整備委員会（高木委員）

個人登録が 4000 名を超えたことなど, Geo-flash でも紹介することとした.

会計関係 (担当理事 向山)

- ・ 予決算案の確定
- ・ 13 日に会計監査を実施する.

広報委員会 (担当理事 倉本=情報特任・坂口)

- ・ 学会事業案内パンフ改訂版を作成予定. 5/16 からの地球惑星連合大会で配布予定.
内容を理事会で確認, 一般社団法人としてのパンフとする.

2. 学術研究部会 (部会長-石渡)

行事委員会 (担当理事・委員長 斎藤)

- ・ 岡山大会のポスター案が準備委員会から提出された.
- ・ 市民講演会は別途にポスター 300 枚, チラシ 300 枚を作成予定
- ・ 年会および普及行事等について教育委員会の後援申請を検討中本)

国際交流委員会 (担当理事 石渡=国際特任理事)

- ・ EarthTrek (GSA 主催) 参加の呼びかけに対し, プロジェクトの内容に関する質問状を出す.

3. 編集出版部会 (部会長-久田, 小嶋, 岩森, 井龍)

地質学雑誌編集委員会 (委員長 久田 副委員長-小嶋, 岩森=企画担当)

- ・ 今月の編集状況は以下の通りです (5月8日現在).
115-04月号: 論説 3 短報 1 口絵 1 (43p. 4/30 発送済み)
115-05月号: 論説 3 報告 1 口絵 1 (54p. 校正中)
- ・ 2009 年度投稿論文 総数 20 編 [論説 6 (和文 6), 総説 3 (和文 3) 短報 8 (和文 8), ノート 2 (和文 2) 報告 1 (和文 1)] 口絵 2 (欧文 1・和文 1)
投稿数昨年比 -16 査読中 66 編 受理済み 22 編 (うち通常号 4 口絵 1 特集 17)
- ・ 新編集規則 (現編集規約・投稿規定) の 9 月施行に向けて, 会員に対し事前周知のため, ニュース誌 6 月号以降およびメルマガで広報する.

企画部会報告 (岩森)

- ・ JST によるインパクトファクター (IF) に関するセミナーが 3 月 23 日に開かれ, 1) トムソン・ロイター社の担当者から, IF の概要や Web of Science (WS) 登録 (IF 取得) に関わる選定基準の説明, 2) 日本薬物動態学会から, IF 取得の際の事例紹介, 3) 質疑応答が行われた. WS 登録に向けての地質学会の方針を確認し, 今後の活動に役立てることとした. トムソン社への登録要請文書を作成.

Island arc 編集委員会 (担当理事 井龍, 事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- ・ IAR 編集状況 5/1 現在

企画出版委員会 (担当理事 藤林)

- ・ リーフレット編集委員会について, 委員長候補は高橋正樹会員に内諾, 委員候補を決める.

4. 普及教育事業部会 (部会長-矢島, 藤林)

地学教育委員会 (委員長-中井均)

- ・ 以下の点について, 理事会に提案し, 検討を依頼.

- ・岡山の地質情報展でのワークショップは行わない。
- ・東レ理科教育賞文部大臣賞を受賞した会員、生徒発表会に連続参加している学校の指導教諭（会員）に岡山大会での特別展示を依頼するにあたっての対応について。
- ・地学教育に貢献した小中高教師に対する顕彰システムについて。

5. 各委員会等

支部長連絡会議（担当理事 高木）

- ・支部規則の原案の検討を行い、最終案を確定し、支部に送付

ジオパーク支援委員会（委員長 天野）

- ・ジオパークを一般に広く周知する必要性に鑑み、ポスターを作成し配布することを委員会として決めた。配布先としては地方自治体、自然系博物館、教育機関、観光関連団体等を考えている、作成枚数はA2版で2000枚程度。
作成・配布費用など会計上のことも含め理事会の承認を求める。→ 承認

6. NPO 地学オリンピック日本委員会（久田）

- ・2008年度事業報告、2009年度実施計画および2009年度協賛団体加入案内、協賛金額1口10万円
- ・2012年は日本開催。（2009年台湾、2010年インドネシア、2011年はヨーロッパ）

7. 日本学術会議

IUGS（佶副会長）

E-Bulletin (No. 38, April 2009) について

○審議事項

1. 地学教育委員会からの提案事項について

- ・委員会として協力要請をし、岡山大会に出席を依頼した2名の教員会員については、委員会の要請に沿って、参加交通費は支給し、年会への参加登録費の徴収はしないことを了承。
- ・教員の功績に対して、岡山大会で表彰することの可否については、学会の表彰ルールに則っており、委員会として検討すべき、ということになった。また、地学教育に貢献した教員等の表彰システムの検討についても、原則、功労章や学会表彰などの表彰ルールで行えるものであることが確認された。
- ・地学教育の記事として、2教員にNews誌への原稿執筆を依頼する。

2. その他

1) 除名申し立て審議について

法務委員会から最終的に答申が発出されるとの報告があったため、その取り扱いの原則は除名細則に従うものであること、ただし、申立人と被申立人以外への開示については、関係者の名誉や人格の尊重と、運営の透明性の双方を勘案する事を確認した。

その上で、今回の2事件の答申については、早急に申立人ならびに被申立人へ法務委員会が行い、その結果を報告する事を法務委員会に要請した。

2) 5月16日の日本ジオパークネットワーク発足式への対応

招待状（祝辞の要請）があったので、会長が出席することとした。